

産学連携 取組み実績

エイジェックグループは、大学など教育機関との「産学連携」により新たな価値の創造に取り組んでいます。

project 1

東京大学 × (株)エイジェック

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構とスポーツの包括的連携・共同研究を開始

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構（UTSSI）（野崎大地機構長）と株式会社エイジェックはスポーツの発展を目的とする包括的連携協定、共同研究を開始いたします。

スポーツサイエンス分野における最先端の研究を行っている東京大学スポーツ先端科学連携研究機構（UTSSI）とアカデミー事業やスポーツチームの運営などを行う、株式会社エイジェックの提携により、国内最先端で最大規模のスポーツサイエンスにおける研究を推進し、スポーツ界に広く寄与してまいります。



project 2

信州大学 × (株)アシスト&ソリューション (エイジェックグループ)

銅胆持・可視光酸化チタン光触媒「セラコート・ワン」の共同研究・開発

信州大学工学部とアシスト&ソリューションが共同開発した『セラコート・ワン』は、銀や銅を加える事で酸化分解力を高め、光の無い状況でも抗菌作用が働く製品です。

光に反応して強い抗菌作用、におい除去、有毒ガス分解、空気清浄化等の効果を発揮します。あらゆる素材に塗布することができ、一度の施工でおよそ3年間は効果が持続することなどから、救急車の車内や、エスカレーターの手すり、ホールの座席、電車の車両などあらゆるシチュエーションで施工が可能です。

新型コロナウイルス感染対策としても期待されており、メディアからも注目を集めています。

研究・開発成果 ▶ 善光寺（長野市・国宝）に「セラコート・ワン」が採用！

7年に一度行われる「善光寺前立本尊御開帳」。ふれることで縁を結べるとされる「回向柱（えこうばしら）」に、共同開発製品の抗菌剤『セラコート・ワン』が採用されました。

あらゆる素材に塗布可能で抗菌作用が持続する特性を持っていますが、木材は液剤が染み込みやすいため、より表面に長く留まるように、あらたに木材製品向けの『セラコート・ワン』を開発しました。

塗布・コーティングすることで、コロナ禍でも参拝者が安心して回向柱にふれることができます。



project 3

大阪大学微生物病研究所発 (株)ビケンバイオミクス × (株)エイジェック

次世代バイオ産業に貢献する高度技能人材の育成支援

大阪大学微生物病研究所発のベンチャー企業である(株)ビケンバイオミクスとの共同出資により(株)BioLab Meister（バイオラボマイスター）を設立いたしました。

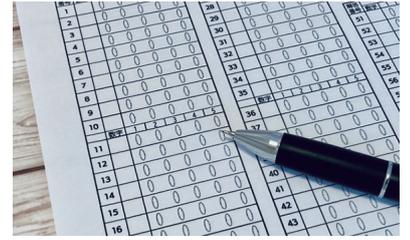
この法人は、次世代のバイオ産業に貢献できる高度研究系技術者の確保を主目的に、バイオラボマイスター（バイオ高度技能人材、バイオ DX 人材）の育成を行い、研究支援、産学連携、業務委託を通じて、研究機関や一般企業に対して優秀な人材を提供します。



採用における適職・適性検査と適応に関する共同研究を開始

上智大学 総合人間科学部 心理学科 学習心理学研究室とエイジェックの共同研究として、採用における適職・適性検査と適応に関する研究を開始いたします。

社会人として働き始め、就いた仕事を続けていくために大事なことは何か、また、働き始めるより前に考え、検討できることは何だろうか。これらの課題に対して、幅広い職種を展開しているエイジェックが、研究室とともに取り組んでいきます。



「球場に行きたくなくなる理由」発見プロジェクト

明治大学 奥山雅之ゼミナールと栃木県民球団 (栃木ゴールデンブレーブス) は、独立リーグ球団「栃木ゴールデンブレーブス」の更なる発展に向けた共同研究プロジェクトを開始いたしました。

本プロジェクトでは、地域に根ざした球団運営のあり方をテーマに、集客施策やファンクラブの活性化、広域的なマーケティング戦略などについて、全国的な視点からアプローチを検討。栃木県内にとどまらず、他地域からの誘客を見据えた取り組みを展開します。

この共同研究は、スポーツを軸とした地域活性化の可能性を探るものであり、地域創生の実現に向けて長期的な視点で推進してまいります。

〈明治大学 奥山ゼミナール〉

地域を豊かにする人材が育つ人材が育つ「ライブハウス」であり続ける

地域産業論を研究している明治大学 政治経済学部 奥山雅之教授のもとで観光やものづくりなど地域産業、SDGs をテーマとしたプロジェクトを設定し、地域統計の分析や研究課題の探究、フィールドワークの準備などを研究。

〈栃木ゴールデンブレーブス〉

2016年設立、栃木県全域を本拠地とする独立リーグ球団。

地域に根ざした運営を通じて、夢と感動を届ける存在を目指し、地域創生や人材育成にも取り組んでいます。



女子アスリート栄養プロジェクト

昭和女子大学とエイジェックグループでは「スポーツ栄養学」の観点から、女子アスリートのパフォーマンス向上について共同研究を開始します。

エイジェック女子野球部の選手に対し、食健康科学部 健康デザイン学科の学生が、部員のパフォーマンス向上を目的に、以下の取組・研究を実施します。

①食改善

長期的観点：今までの食事や生活をみなおした日々の食事改善を実施

短期的観点：えびの仙太を活用した食事改善を実施

③美容イベント

美肌・美白等美容に関連した検査や施策もイベント的に実施

②検査

(血液検査／ヘモグロビン検査／基礎検査／食事調査)

定期的に血液検査を実施 (健暉会)



地域の魅力を発信！スポーツツーリズム活性化に向けた PR 施策

IT・デジタルコンテンツ業界の各分野で活躍するスペシャリストを育成する 専門学校 HAL 東京とエイジェックは、栃木県矢板市との産学官連携プロジェクトとして、地域のランドマーク「りんご」「つつじ」「おしらじの滝」をモチーフにしたオリジナルキャラクターと PR チラシを制作いたしました。

本チラシは関東圏の大学・専門学校に配布され、スポーツイベント会場や観光施設で展開される予定です。

HAL 東京の学生クリエイターが手がけた親しみやすいデザインが、矢板市の自然と文化をダイレクトに発信し、訪問者の増加と地域活性化を同時に実現します

インターンシップでの実践的な制作経験を通じて学生の成長を促すとともに、自治体にとっては新たな観光プロモーションの可能性を広げる一枚として活用されています。



球団運営と地域共創で新しい価値の創造を目的とした共同研究

白鷗大学と栃木県民球団は地域共創をテーマに共同研究を開始します。

独立リーグ・栃木ゴールデンブレーブスを運営する株式会社栃木県民球団 (栃木県小山市) は、白鷗大学 教育学部 (栃木県小山市) 齋藤正憲ゼミナールと「地域共創と人文知：まち・ひとづくりに関する新しい価値の創造」をテーマに共同研究を行います。2021年12月20日付で「地域共創センター (共同研究室)」を設置、地域共創に関する様々な共同プロジェクトを推進します。



サッカー J1 アビスパ福岡の集客共同企画

福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、久留米大学の4大学とエイジェックは、アビスパ福岡の共同集客企画を開始いたしました。

“J1 定着”を果たし、進化を続けるアビスパ福岡。観客数を増やすために共同で集客方法を検討いたします。

昨年の活動を活かしながら、学生が若年層・女性の新規ファン獲得や福岡県南部エリアの来場者を増やす施策等、テーマ別にアイデアを持ち寄り、クラブ職員と実現の可能性を模索していきます。

県内4大学の学生約80名と今季最多来場数を目指します。

【SNSはこちら】 X <https://x.com/uni20241130?s=21&t=plG4puEJkHhQ6vjyStHHBw>
Instagram <https://www.instagram.com/uni20241130?igsh=MTdwcGd6ZXRvbjk2dA==>
TikTok https://www.tiktok.com/@uni20241130?_t=8qwf6eydPTV&_r=1



青山学院大学とSDGs についての共同研究を開始

青山学院大学総合プロジェクト研究所内「SDGs 人材開発パートナーシップ研究所（所長 玉木欽也（経営学部教授）」と、「ニューノーマル時代へ向けた教育機関・企業・人材の参加型事業育成」をテーマに掲げて、共同研究を開始します。

この共同研究は、産業と学問の連携による事業支援や、多彩な分野における人材キャリア支援、また地域資源・資産を活かした地域創生事業支援を目的とし、国際・産学官金連携・学生参加によるニューノーマル時代に向けた学校・企業・人材の参加型事業育成に取り組むものです。

SDGs 人材開発を研究する同研究所と、人材総合プロデュース企業として各産業の特徴に合わせたソリューションの提供実績と多領域に及ぶ地方創生モデルを持つエイジェックグループが共同研究、共同開発を行うことで、社会的課題解決のための多角的な研究取組・発信と、将来に向かってより持続性のある、教育を含めた新事業の開発・育成を推進していきます。具体的には以下の研究課題に取り組めます。

- ・ 産業と学問の連携、事業支援のあり方
- ・ 多様な業種における人材キャリア支援のあり方
- ・ 地域特性、地域資産を活かした地域創生事業支援のあり方



「間島記念館」画像提供：青山学院大学

